

立誠まちづくりニュース

vol. **4**

発行：立誠まちづくり委員会

〒604-8023 京都市中京区蛸薬師通河原町東入備前島町 310-2

URL : <http://www.rissei.org>

E-Mail : info@rissei.org

June 2008

「立誠まちづくり委員会」は、立誠学区における安全で安心、地域の繁栄、住み良い環境など理想的なまちづくりを目指して多面的に取り組むため、平成 16 年に前身である「木屋町地域安全対策委員会」から発展して結成された組織です。

立誠まちづくり委員会委員長から皆様へ 「立誠学区のまちづくり」への思い

皆様こんにちは。立誠まちづくり委員会の会長を勤めさせていただいています山本です。日頃は立誠まちづくり委員会にご協力賜りましてありがとうございます御座います。

この委員会も発足いたしまして五年目に入りました。よく続いたなと言う思いと、何をやって来たのだろうとの感慨が交錯する今日この頃です。

さて、一口に「街づくり」と言っても本当に難しいと皆様も感じておられる事と思います。ここに一つの「街づくり」に関する日本建築学会の定義が御座います。それをご披露させて頂いて、挨拶に代えさせていただきます。

～街づくりとは「地域社会に存在する資源を基礎とし、多様な主体が連携、協力して、身近な環境を漸進的に改善し、まちの活力と魅力を高め、生活の質の向上を実現する為の一連の持続的な活動である。」～

私達は上記の定義に従えば、かなりの部分でそれなりの実績を挙げて来たとは思いますが、今だ

程遠い感も否めません。どっちやねん、と言われれば両方とも当てはまっているんじゃないかと思っています。

今後とも皆様と共に立誠まちづくり委員会を、活動的で、かつ継続性を持たせて絶えず初めの定義に沿いながら活動して行きたいと思っておりますので宜しくお付き合いの程お願いいたします。



立誠まちづくり委員会
委員長 山本 訓三

次回まちづくり委員会は 6月24日(火)午後 2:00～元・立誠小学校会議室にて開催です!!

立誠まちづくり委員会5周年 この1年間を振り返って

立誠まちづくり委員会は2004年に誕生して、今年で5年目に突入いたします。これまでに国土交通省の都市再生モデル調査や、先斗町のゴミ問題、防犯カメラの設置などを行ってきましたが、特に昨年度は「安心・安全な木屋町の実現」のために、路上で歩行者の通行の妨げになる路上看板の撤去に向けた取り組みを行いました。

夜になると木屋町周辺では多くの飲食店が営業を始めますが、一部の店舗においては置き看板を路上に張り出す形で設置し、歩道を歩く人々にとって邪魔な存在になっておりました。そこで立誠まちづくり委員会は、まず木屋町周辺における路上看板の実態調査を行い、同時並行で路上看板の自主撤去をお願いするチラシを木屋町周辺の店

舗に配布し、地域への啓発活動も行いました。

そしてチラシを配布しても路上看板を撤去していただけない店舗を対象に、まちづくり委員会の委員が直接店舗の責任者に対して自主撤去の要請をいたしました。それでも改善が見られない店舗に関しては京都市の担当部局に引き継ぎを行い、行政と協働して路上看板の無い安全・安心な環境を実現するために取り組んでまいりました。

この活動以外にも元・立誠小学校の跡地活用に関して「立誠・文化のまちプロジェクト」との連携を図りながら、「まなびや2007」など各種文化芸術イベントの開催の支援活動も行いました。この活動を通して木屋町ひいては立誠学区の新しい方向性に向けた取り組みも続けております。

立誠まちづくり委員会 この1年間の主な取り組み

- 2007年 4月 立命館大学木屋町拠点オープニングシンポ
- 6月 立誠まちづくり委員会総会
- 8月 高瀬川夏祭り(灯ろう流し)
大阪・宗右衛門町ヒアリング
- 10月 まなびや2007
- 12月 路上看板自主撤去要請のチラシ配布
- 2008年 1月 立誠まちづくり委員会新年会
- 2月 路上看板設置店舗に撤去要請
- 4月 高瀬川桜祭り(のべ3日間)



【上】路上看板自主撤去を呼びかけるチラシ

【左奥】路上看板自主撤去のチラシを配布するまちづくり委員会の委員

【左】まちづくり委員会会議の様子

参加者に聞きました！！

第22回高瀬川桜祭りの思い出☆



【プレイズ・ピアソラ・森さん】

桜祭りの前夜祭として、コントラバス、バンドネオン、ダンスのトリオによる『プレイズ・ピアソラ』と題したコンサートを行いました。

満開の夜桜とも相まって、大勢のお客様にお越しいただきました。コンサートは、じっくりと聴き応え、見応えのある内容となり、穏やかに、しかし確実な盛り上がりを見せていたように思います。さらに元立誠小学校という場所もっている、独特の空間や時間の流れ方が、より一層コンサートの雰囲気を高めていたことは間違いありません。

出演者も場所の持つ力を借りて、京都での演奏の手応えを感じていました。また、コンサートの開場中と休憩中に、桜祭りに参加されていた〇〇〇の皆さんによるドリンクバーを会場横に設置していただきました。お客様の利用も多く、効果的だったと思います。このような参加団体同士の連携事業も、いくつかの団体や市民が参加する桜祭りに相応しいものだったと思います。

【立誠・文化のまちプロジェクト・本郷さん】

満開の桜と快晴に恵まれ、ほんとうに華やかなお祭りだったと思います。文まちプロジェクトがスタートしてから始まった人との繋がりが、直接「立誠」という場に繋がったように感じたことも、大変嬉しい出来事の一つでした。「立誠ならではの」と言われるようなお祭りになるよう、来年以降も参加できればと思います。

【出前ちんどん・花山さん】

ちょうど桜も満開で天気にも恵まれ、祭りの雰囲気にはひかれてふらりと立ち寄っていく通行人の方も多く、演奏していて楽しかったです。ちんどん屋で街を流していても、桜祭りに興味を持ってくださる方が多かったので宣伝しがいがありました。本当に老若男女、どの年代の人も来ていて同じ空間の中でそれぞれに楽しんでいる、という状態が当然のように実現できていました。事前にきちんと決めることは決めておくが臨機応変というか、当日の雰囲気に任せるというか、ある程度アバウトさを残していたようなところがよかったのかな、と思いました。

【ヨーロッパ企画・諏訪さん】

桜祭りでオセロのイベントをやったのですが、思った以上に色んな方に参加していただけたりと、見物していただけたりと、高瀬川沿いにある立誠小の正面橋だからこそ、という感じがしました。閉じすぎず開けすぎずのちょうどいい場ができてたように感じます。桜祭りは毎年ずっと続いて欲しいし、よろしければ是非ヨーロッパ企画も呼んでください。

【ヨーロッパ企画・長野さん】

ヨーロッパ企画では、演劇活動を普段やっているのですが、そこでは出会えない客層の方々の前で表現することができて、とても刺激的な2日間を過ごさせていただき、貴重な経験をさせていただきました。



木屋町周辺における路上看板対策について

京都市 都市計画局市街地景観課

平成19年度当初に、立誠まちづくり委員会が路上看板対策に取り組むこととなり、以来、この1年間、立誠まちづくり委員会に参画し、議論を続けてまいりました。まずは、この間、地域の取組に関する熱意には大変敬意を表するものです。

この問題は、以前から地域の課題になっており、決して新しい問題ではありませんでしたが、新景観政策の中で違法看板対策の強化に取り組んでいた折、まさにトピックな課題として取り上げられたものと思います。しかしながら、この取組は、必ずしもスムーズに進んだものではなく、まちづくり委員会の中でも様々な観点から賛否両論もあり、何度も話し合いをするなど、紆余曲折もありました。当初は、地域の方々による路上看板自粛の啓発を主とするコンセプトではじまり、大阪の宗右衛門町の取組を参考としながら、まちづくり委員会による啓発ビラの作成、全戸配布、また、個別店舗への指導も行ってきました。その結果、趣旨に賛同する店舗もありましたが、やはり、それだけでは限界があるというのも現実でありました。

こうした状況を踏まえ、地域からの要請に基づき、行政として、路上看板の撤去に踏み切ることとしました。まずは行政による夜間の指導・警告から始まり、それでも依然として違法状態が継続

されているものについて、撤去を行うこととしました。この活動に当たっては、京都市の屋外広告物条例を所管する市街地景観課、道路法を所管する道路河川管理課との合同チームに加え、京都府警（祇園・木屋町特別警察隊）の全面的な協力の下、実施したところです。ほとんどの場合、撤去に至るまでの警告の段階で、敷地内に置くようになりましたが、中には、警告に従わないため、一部の風俗関連店舗や飲食店などの路上看板の撤去を行いました。この間、この活動と地域での啓発も相俟って、以前と比較すると相当に路上看板が減ってきております。

この取組において、何より大きいのは、まちづくり委員会が迷惑路上看板をなくそうという総意と熱心な活動が背景にあることは言うまでもなく、全体としてみれば、行政主導ではなく、地域主導型による取組として成果をあげたものと考えております。また、まちづくり委員会の方々の取組に加え、この間、コーディネート役となって様々な調整を行ってきた景観・まちづくりセンターの役割も大きかったと思います。

今後ともこの取組を続けてまいりますので、地域の皆様方におかれましても、迷惑路上看板の一掃に御協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



【上】木屋町周辺の路地の路上看板の状況 路上看板が壁となって、路上駐輪を引き起こしやすい環境をつくってしまっている例も

木屋町警備派出所の設置と自転車駐輪場整備の経緯について

京都市 総合企画局プロジェクト推進室
建設局自転車政策課



京都市内随一の繁華街である木屋町界わいにおいては、近年、治安対策が大変大きな課題となっておりましたが、平成17年10月、京都府警が「祇園・木屋町特別警察隊」を結成し、元立誠小学校を拠点として、連日、犯罪の予防・検挙、交通取締りなどの重点的・集中的な活動を行っていることや、地元住民の皆様、京都市、京都府警との連携による夜間パトロールの取組等が相まって、治安は大きく改善されつつあります。そして更に継続的・効果的な取組を進めていくため、平成18年7月、京都府警は「木屋町警備派出所」を新設する計画を発表し、京都市に対してその整備用地の提供を求めてまいりました。

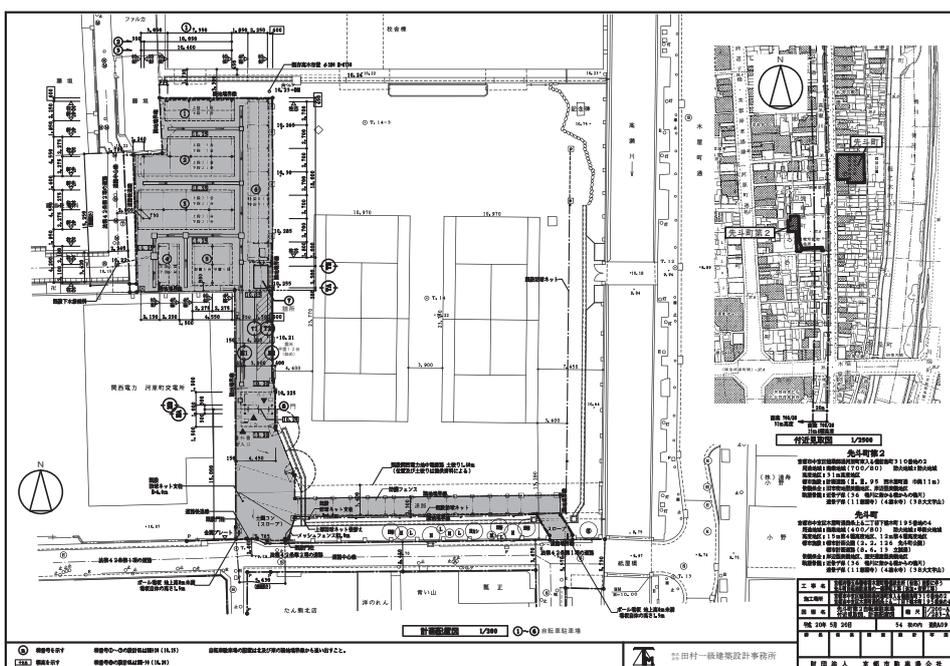
京都市では、木屋町界わいの安心・安全のまちづくりの実現のため、警備派出所を設置するための用地として、京都市駐車場公社が運営する先斗町自転車駐車場の一角（約220㎡）を無償貸与することといたしました。

しかしながら、用地提供に伴い駐輪台数が減少することになり、

ただでさえ放置自転車があふれる木屋町の現状を踏まえると、何らかの対応が是非とも必要であり、地元の皆様の深いご理解をいただき、その代替場所として、元立誠小学校内のプール跡地に自転車駐輪場を整備することといたしました。

元立誠小学校に新たに整備する駐輪場は、24時間営業の自転車専用の駐輪場とし、現行（325台）とほぼ同数を確保する予定です。この駐輪場は、京都市駐車場公社が先斗町自転車駐車場と一体的に管理することとしており、夜間には、ガードマンを配置するなど、防犯・安全対策には万全を期してまいります。また、現在の先斗町自転車駐車場については、再整備を行いバイク専用とし、現行（385台）と同数以上を確保する予定です。

整備工事は、既に6月2日から着工しておりますが、最大約5箇月間を要する予定であり、この間、近隣住民をはじめ地元の皆様には大変ご迷惑をお掛けすることとなりますが、何卒ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



【左上】現状の先斗町自転車駐輪場の様子

【上】元立誠小学校グラウンドと整備の駐輪場の設計図面
(グレーに着色した部分が駐輪場の敷地として使用するエリア)

ひところは街の関係者や訪れる市民・観光客の眉をひそませていた、いわゆる性風俗店による黒服の客引きは息をひそめ、また街の美観や通行の安全を阻害してきたギラギラ看板も姿を消し、もとの情緒有る歴史的な街の風情が戻りつつ有ります。



これは荒れ狂った街の現状を憂い「何とかせねば」と集まった、自治連を中心とする各団体・個人の努力…その中には数年に達する夜間パトロール・防犯カメラ設置をめぐる白熱した取り組み…と、見るに見兼ねた関係府市会議員の応援・マスコミの報道が行政を動かし、中でも一昨年からの立誠校正門前の特別警察隊常駐が大きな力となっていることは疑い有りません。

加えて関係者が永年待ち望んでいた「現駐車場一角への警察交番復活」も決まり、近日中に実現の見通しとなったことは同慶の至りです。



しかしこの反面新たな問題も見えてきています。それは交番復活と併せ現在の「特別警察隊の廃止又は縮小」の噂も出ていることです。

問題は復活する交番の規模・配置警察官の人数・勤務体制等が明らかにされず、その上に特別警察隊が廃止又は縮小されるならば、「それで果たして現在の木屋町・高瀬川地域の安全・安心に支障がないのか？」ということです。

街の治安を守る責任は第一義的には警察に有りますが、それは地元民間関係者と一体とならねば効果は挙がりません。現に夜間パトロールはその一環として実施され、所定の結果を挙げそれを証明しています。

従ってこの点で警察当局は「どう考え・どう対処する」のか？ 明らかにされる必要が有るのではないのでしょうか！



世の中は日一日と変わっていきます。この地域でも新たに「案内所」「レンタルーム」「出会い喫茶？」なるものが姿を見せています。その実態は何なののでしょうか？ 警察当局は察知されているのでしょうか？ 街の我々はこれらに「どう対処すべき」のでしょうか？ まちづくり委員会治安・風俗部会は検討を始めています。皆さんの御協力・御支援を宜しくお願い申し上げます。

高瀬川及び周辺の清掃活動

立誠保健協議会
立誠高瀬川保勝会
立誠社会福祉協議会

高瀬川は江戸時代、角倉了以によって運河として掘られた歴史的な遺産でもあり、今や京都を代表する繁華街、四条河原町、木屋町先斗町界隈に一服の清涼剤を与える小川として市民や観光客にも親しまれています。そこには、桜並木や川べりの整備などこの地域の多くの先人たちの環境に対する努力があります。

そこで、立誠保健協議会、立誠高瀬川保勝会、立誠社会福祉協議会では、近年ゴミの散乱が目

立った高瀬川および木屋町通（立誠学区内、三条通～四条通）の清掃活動を始めることとなり、今年で足掛け7年目になりました。

毎月1回の地道な活動を続けてまいり、それによって着実にその成果が上がっていると思います。当初よりは参加人数も少なくなってきたものの、清掃に要する時間も短くなってきたことは、単に慣れということだけではなく、ゴミが少なくなってきた現れでもあります。

木屋町共栄会の昨年の活動記録と今後の予定

木屋町共栄会会長 塩山 大介さん

昨年7月29日に京都市より「まち美化推進住民協定」の認定を受け、落書き消去剤を10缶購入していただきました。一斉清掃時に橋の欄干や電柱の落書き消去に使用し、また会員店舗や自宅の柱、電源盤、壁、シャッター等への落書きを消しました。

看板住民協定を策定し、看板設置了解範囲を、①木屋町通りに面した東側では、境界線より30cm又は道路側から30cm(街路樹又は電柱の範囲に収まり通りにはみ出さない)、一店舗の看板に複数個は認めない、近隣と協力して、両側から挟み歩行部分を減少させない、高瀬川沿いの歩道、植え込みには看板を設置しない。②西木屋町通り 三条～蛸薬師の間では、高瀬川沿いの植え込みには看板を設置しない。西側のみの設置とする。③河原町・木屋町の間細い通りでは、境界線より30cm以内を原則とする。各通りの道路幅に大小があり、狭い通りは30cm以内とする。看板をのければ、自転車がおかれる現状には看板を認めるが、規定範囲内とする。

地域の整備の一環として、西部土木事務所へ「高瀬川河岸崩落修復願い」を提出し、車屋橋南東部分の石垣破損を修復していただき、工事中河

床から出土した船曳歩道の杭を一本保存しました。桜並木の保全では緑地管理課に桜並木の整備をお願いし、高瀬川沿いに4本の桜を植樹して頂きました。次世代への成長を楽しみにしています。

立命館大学政策科学部からの依頼でDecoding kyoto Project 英語版木屋町マップ作成活動に協力させていただきました。

ロゴマークを決めステッカーを作成し加盟店舗に配布し、各お店の目立つところに表示いたします。

好評でした「木屋町イラストマップ」の第二版を今秋再版する予定です。地域の繁栄活性化のために、マップ作成委員の皆様には木屋町界隈の歴史調査や編集などご苦勞をおかけいたしております。

防犯カメラ設置の本申請を京都府・市へおこないます。先斗町駐輪場の一部移転が遅れているので、来年3月までには設置完了する予定です。

木屋町共栄会の会員を募集しています。地域のまちづくりのため、皆様のご協力をお願いします。ご入会に関しては、お近くの木屋町共栄会マークのお店のお尋ね下さい。

もちろんゴミがゼロになったわけではありません。まだまだ心無い方がおられるのは否めません。いつか清掃が不要になることを願って、この活動

を続けるつもりであり、次の世代の人たちにより良い環境を創ろうという思いを引き継いでいってもらいたいと思います



- 7月1日～10日 京都市立芸術大学 学生漆工展と
マイ箸ワークショップ（立誠小学校）
- 7月7日・14日 京都造形大学 × マサチューセッツ工科大学
合同ワークショップ（立誠小学校）
- 7月13日 第1回立誠寄席「爆笑お笑いライブ」（立誠小学校）
入場料 500円（お問合せ：明石焼 TASUKU 075-212-1836）
- 7月19日～8月4日 京都嵯峨芸術大学展覧会（立誠小学校）
- 8月19日～24日 高瀬川夏祭り（立誠小学校グラウンド・高瀬川など周辺）
灯ろう流しなどメインイベントは8月24日に開催
- 9月23日 学生木工展と親子木工（おもちゃ）教室（立誠小学校）

編集 後記

一年ぶりのまちづくりニュース発行にあたりご協力頂いた方々に、心より御礼申し上げます。さて、立誠まちづくり委員会では昨年度取組んでまいりました路上看板問題も、まちづくり委員会のメンバー及び市街地景観課の皆様のご協力により木屋町通りの路上看板に置きましては、かなりの成果を得られた様に思われます。

今後看板部会に置きまして木屋町、河原町通間東西の道路に関して活動していきたいと思っております。また、本年度は「安心・安全のまちづくり」から路上放置自転車問題に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご協力をお願い致します。

立誠まちづくりニュースでは紙面広告を募集しております！！

掲載イメージ（実際はA4です）

広告A	広告B
広告C	広告D

原寸大（90mm × 30mm）

この1枠で **2,000円** です

上記のサイズだけではなく、お客様のご要望に応じたサイズに対応させていただきます
（例：4枠分のスペース（180mm×60mm）を使用する場合は8,000円など）

■ 当紙概要

発行団体：立誠まちづくり委員会

発行責任者：立誠まちづくり委員会 委員長 山本訓三

発行時期：2ヶ月に一度のペースで発行予定

紙面仕様：A4サイズ、モノクロ4～8ページ前後（発行時期によって変動あり）を予定

発行部数：立誠学区を中心に約1500部を発行、配布予定

またホームページ（<http://www.rissei.org>）や立誠学区内に設置された掲示板にも掲示予定

※広告掲載にあたっては、立誠まちづくり委員会広報部会内において広告内容の審査がございます

お問い合わせは立誠まちづくり委員会事務局（E-mail：info@rissei.org）までお願いいたします